

## 地域との連携を図り 市の施策を進めよ！



自民党新政クラブ 田中 政義

### 1. ぶんバス北町ルートについて

問) これまでの検討状況を教えて欲しい。  
都市建設部長) 庁内の見直し検討委員会に於いて通常のぶんバスのサイズでは北町3・4丁目の巡回はできない為、小型バス導入についての検討、またそれについての費用対効果、運行ルートなどの検討などを行ってきた。

問) 今後の進め方については？

都市建設部長) 見直し検討委員会での結論や方向等が出た中で専門的な立場である地域公共交通会議に諮って検討を続けていく。

### 2. ふるさと納税推進施策について

問) 仕組みと国分寺市の現在の状況は？

政策部長) ふるさと納税は、各個人が貢献したいと思う地方公共団体に寄附をすると住民税等から一定の控除が受けられるという制度であり国分寺市に於いては始まったばかりであり、額的にはまだまだ少ない状況である。

問) 国分寺市の新しいキャラクターである「ぶんじはたるホッチ」を活用しながらPRと合わせて納税の推進もしていけたらと思うが。

政策部長) 予算的なものもあるが、タツノコプロに交渉しながら進めていきたい。

### 3. 国分寺駅北口再開発について

問) これから始まっていく工事の中で、市が発注する工事について、市内事業者に依頼できるものは是非そうしてもらいたいと思うが。

都市開発部長) 特定建築者の工事の中に市内事業者が入る事は考えにくい、市が直接発注する工事、建物解体工事や暫定道路工事等については、できるだけ市内事業者に参加する機会が与えられるように努力していきたい。

問) 有事の際に大変大きな力になってくれるのは市内の事業者ではないかと思う。市施工だからこそできる事の1つかと思う。

市長) 地域経済の振興という視点からも地域の事業者の仕事が回っていく仕組みを考えていくという事は大事な事である。努力していく。

◎その他、駅周辺の喫煙所について、国328号線について、総合防災訓練について質問した。

## 直営の小学校給食調理で 子どもの安全安心を



日本共産党国分寺市議団 中山 こう

### 《安心安全な学校給食を》

問) 市が行なった説明会で、8小の保護者が「コスト削減で明らかに条件が良くなるとは言えない中で、数値に表れない給食の変化は予想される。民間委託によって自分達の子どもに何が降りかかってくるかを知りたくて説明会に参加した。今は不安でたまらない」と発言していた。民間委託を4月から実施するというのに、今の時期に具体的な説明ができないような施策は中止すべき。

教育次長) 8小では、十分に説明をして、不安のある保護者に対して、少しでも不安を和らげるようなことはこれからも行なっていく。

\*保護者の不安を払拭するのは市の責任

問) 説明会で8小以外の保護者からも「もっと説明してほしい」という声があった。8小以外の保護者にも説明会を行なうのか。

教育長) 今後、委託の対象が決まった学校においては説明していく。

市長) 保護者の不安は分かるが、どうして民間委託に反対するのか、わからない。

\*子どもの命にかかわる給食調理を民間委託によってお金儲けの場にする事は許されない  
《ごみ行政について》

問) 可燃ごみの共同処理について、市民にも説明すべき

環境部長) 一定の方向性が決まったら、可能な限り市民の皆様にも説明していく。

\*市民にも説明をするように求める。

問) ごみ有料化が目的ではなく、ごみを減らすことが目的。有料化しても市民の協力がなければごみは減らない。有料化ではなく、あらゆる減量施策を実施すべき。

環境部長) 有料化以外の減量施策も見習うところは見習って、さらなる減量をめざす。

\*有料化ではなくあらゆる減量施策を求める。

### 《紙おむつ等支給事業について》

問) 現在の見直し状況は

福祉保健部長) 第2号被保険者のガン末期で、在宅療養している方に対象拡大を検討中。

## 「健康で文化的な都市」実現へ 市政の転換を



日本共産党国分寺市議団 岡部 宏章

### ＜西国分寺駅北口のバリアフリー化を＞

岡部) 私は、JRが駅ビルの新設と併せてつくったスロープの工事の進められ方に疑問を持っている。駅施設は第一義的にはJRの責任ではあるとしても、市は何もしなくてよかったのか。JRと周辺住民との間で懇談等行なわれたか。また、市とJRとの間で協議等行なったか。

都市計画担当部長) 懇談については把握していない。市とJRとの間で協議は行っていない。

岡部) 駅西側から行き来する人のためのスロープ新設も検討は十分に可能。今後についても市はJRには強い姿勢で臨み負担を求めるべき。

### ＜介護ヘルパー時間短縮問題の改善を＞

岡部) 制度変更により介護ヘルパーの利用時間が短縮され、利用者から悲鳴が上がっている。大事な援助の時間を削るのは、命を削ろうとしているのと同じだ。

福祉保健部長) 介護事業者には、現在と同程度の時間のサービス実施も可能だということを知っている。

岡部) 真面目に利用者に介護を提供しようと努力している事業者にとって、これ迄通りの時間で提供しようとすれば犠牲を払わされることになる報酬単価が問題。国に改善を求めるべき。

市長) 本日は受け止めさせていただき、今後の状況をしっかり判断したい。

### ＜安心して通える学童保育所を＞

岡部) 指定管理者制度の導入は、保護者からは良い業者による運営が長く続けられるようにとの希望がある一方で、業者と市との馴れ合いが生じる危惧があるなどの問題がある。

子ども福祉部長) 公正、適正な選定に基づいて行なうので、心配はない。

岡部) 指定管理者制度は解決できない問題がある。結局、今まで通りの直営が一番良い。

その他、一小での「放課後子どもプラン」の試行事業は保護者と話し合いながら行なうべきことを求めるとともに、学童保育の児童の固有のニーズが大切にされるべきと指摘しました。

## 議会を無視した 教育行政に強く抗議する



無会派(社民党) 釜我 健二

釜我) 10月1日発行の「公民館だより」に、市の決定により公民館などの施設は有料が原則となるとの記事が掲載され、市民に対して有料化が決定事項であるかのように伝えられた。しかし、有料化は議会に提案すらされておらず、全くの虚偽の記事だ。大半の市民は有料化が決まったこととして誤った判断をする原因となった。教育部長) 説明が不十分で誤解を招いた。深く反省している。

釜我) これは誤解を招いたとかのレベルではない、全くの虚偽の記事だ。地方自治法で、使用料・手数料は条例化が必要で議決を要すると定められている。その議決もないものを、市長部局を含め行政の内部決定のみであたかも正式に決定されたかのごとく市民に宣伝するのは議会無視の許されざる行為だ。議会無視という極めて重大な問題なので、議長から市長及び教育委員会へしかるべき対応をお願いしたい。井沢議長) 副議長と相談をして、しかるべき申し入れを行いたい。

来年度予算編成の基本的な考え方について  
釜我) 市長が示した来年度予算編成方針は収支均衡、枠配分など従来と同じものだ。下水、北口再開発など全市民的に長期に負担すべきものが財政ひっ迫の要因の一つである現実を考えると、予算編成方針を現実的で実現可能なものに見直す時期に来ているのではないかと。

樋口副市長) 25年度予算編成方針では財源不足が明らかになっている。多少限界であるとの意見も庁内にある。十分に市長と相談をして予算編成に臨みたい。

家庭ごみ有料化は見送り、再検討すべきだ  
釜我) 今回の家庭ごみ有料化の提案は、有料化ありきのやり方であり、本格的な生ごみ堆肥化などごみの大幅減量の推進と連動していない。市民に負担を強いるのみのやり方だ。今回は提案を見送り、君津市方式なども参考に再検討し、足場をふみ固めて再度提案すべきだ。

市長) 有料化に理解を得つつ、生ごみ堆肥化などを進め、ごみ減量を図っていきたい。

## 福祉の総合相談、 歩行者・自転車優先の道路



国分寺・生活者ネットワーク 片畑 智子

問) 地域福祉推進の観点から、市民が気軽に相談しやすく、相談の対象者や相談内容を限定しない「総合相談窓口」を設置すべきである。

福祉保健部長) 長期総合計画では、地域密着の総合相談窓口を設置する計画をしている。引き続き、窓口設置へ向けて検討を進めたい。

問) 子育て当事者や子どもたちが相談しやすいよう、メールやファクスでも相談受け付けを。

子ども福祉部長) 他の自治体での例を研究しな  
次ページに続く ↓